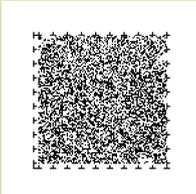


区税 ガイドブック

令和6年度版



世田谷区



中学生の **税** についての **作文**世田谷
区長賞

世田谷中学校 3年 鳥山 真知 さん

ふるさと納税を考える

「悪夢のような事態、100億円目前」、テレビのニュースで、世田谷区長がこう発言しているのが耳に入り、私はテレビに注目した。私は世田谷区に住んでいるので、区が100億近くも減収という報道に驚き、内容をしっかりと知ると、インターネットで検索を試みた。

ふるさと納税は、納税という言葉が付いているが、実際には自治体への寄付の事であり、故郷やゆかりのある地域など、自分が住んでいないが応援したいと思う自治体に寄付をすると寄付額から2000円を引いた分が住民税などから差し引かれる仕組みだとある。寄付した自治体からは、返礼品として特産物などが送られてくるため人気が出て、2022年度の寄付総額は9654億円で、3年連続で過去最高を更新したという。

昨年度の区外から世田谷区へ寄せられた寄付額は約2億円だったが、今年度の流出額は99億まで膨張するとのことだ。

区役所が発信している情報を見ると、税収が十分無い中でも福祉分野の公共サービスを止めるわけにはいかないので、何を削っていくのかと考えると、建物の修繕や建て替えに影響が出るだろうと書かれていた。世田谷区では1960年代から1970年代の高度経済成長期に建てられた学校など、

公共施設の建て替えを順次進めているが、それが予定通りに進められない事も発生してくるとみられている。

私が卒業した小学校や、今通っている中学校は、数年前に建て替えられたが、近所には校舎が古いままの学校もある。そのうち、私たちの生活に支障が出るような、水道や道路、福祉や教育などの公共サービスにも影響が出てくるのではないかと心配になる。

私の家ではどうしているのか気になり、両親に聞いてみた。私の家ではふるさと納税はしていないが、「肉や米などの返礼品は非常に魅力的で、やってみたい」と言っていた。しかし母は、世田谷区に住む会社の同僚が、「ふるさと納税はしない。区の財政に影響が出て、将来福祉などにお金がまわらなくなり住みにくくなったら困るから」と話しているのを聞き、わざわざ納税先を変更しようとは思わない、とのことだった。

私もインターネットで各自治体の返礼品を見てみた。美味しい米や特産牛などふだん食べられないような高級食品のカタログを見ると、正直、ふるさと納税をしたいと思います。しかし、税金の役割である、私たちが安心して暮らすための公共サービスの維持を考えると、ふるさと納税の在り方に疑問を感じる。

より良い税の仕組みや公平な負担を実現していくには、みんなが税金について興味持って知ろうとしていくのが大切ではないだろうか。

世田谷
区長賞

東京都大学付属中学校 3年 風間 渉 さん

新しい時代の地域密着交通と税金

私は、今年の夏休みに部活の合宿で長野県小県郡青木村に行った。青木村には鉄道がなく上田駅からバスに乗った。しかし、そのバスは町の中心部にあるバスターミナルまでの運行で、その先の山の中にある集落や温泉に向かうバスはそのバスターミナルの時刻表には書かれていなかった。ただ、そのバス停の横にはもう一つバス停があった。青木村が運行しているバスの停留所だった。

そのバス停には定期運行のバスが数本書かれている他、予約制のデマンドバスというものが書かれている。合宿が終わったあと、家に帰って調べてみると、「青木村は少子高齢化の影響で人口減少が急速に進んでいるのに加えて、急斜面が多く、以前のコミュニティーバスでは町全域をサポートすることができなかった。しかし、平成20年から予約式のデマンドバスの運行を始めて、町全域をカバーできるようになった」と、書かれていた。

さらに調べてみると、「高校生は親による学校への送迎が多くこれが家庭への負担となっている。なので高校生の利用促進へ向けて中学校に説明会を開いたり、村内在住の高校生は回数券や定期券の値段を一律で半額にしている。」などといったことが書かれていて、利用者増加への具体的な取り組みがあると分かった。これは自治体が取り組んでいる事業な

ので税金が使われている。村民が村に納めた税金が高校生のバス半額といった形式で使われているのだ。また、国からの補助金も使われているので、東京に住んでる我々も無関係ではない。これからの人口減少、高齢化社会では過疎地域の地域交通を維持していくには今までのバス会社だけでやっていくのはかなり厳しくなると思う。なので、税金を投入してバス路線を廃止から防いだり、今までの交通形態を見直すべきだと感じた。

令和2年度から青木村のバスは日中は完全予約制のフルデマンドの形態に変わった。これにより、10分単位で運行時間を決めることができ、乗車する場所と下車する場所もほぼフリーとなった。これは利用者のニーズに合わせて便利に使えるようになったのに加え、乗る人がいない日はバス運行をしなくなるので、現在高騰しているガソリン代を抑えることができ、節税にもなるのだ。そして、この方式を始めて2年。フルデマンドバスの利用客は運行開始年と比べて2.5倍になった。フルデマンドバス以外の利用客もコロナ禍以前よりも増加している。

近年では、増税が多くなっているが、地域の振興として税金が使われていることを知って改めて税金の大切さを知ることができた。これからの時代は少子化が過疎化が進んでいくので、それへの対策として国や自治体が主体となって税金を投入していくことが大切だと感じた。

目次

第1章 世田谷区の財政	2	第6章 税金の各種証明書	60
第2章 税金について	5	1. 世田谷区で発行する証明書	60
1. 税金の種類	5	2. その他の税証明書	60
◆税金の区分	6	3. 税金の証明書が必要なとき	61
◆住民税と所得税の違い	6	第7章 不服申立	63
2. 主な税の申告と納期	8	1. 主な処分に対する審査請求期間	63
第3章 住民税について	9	2. 取消訴訟の提起について	63
1. 住民税とは	9	Q&A	64
2. 住民税がかからない方	10	①申告と税額について	64
3. 住民税がかからない所得(非課税所得)	10	②会社員と税金について	65
4. 申告から納税まで	11	③パート収入やアルバイト収入のある方について	65
1 自営業などの方(普通徴収)	14	④年金について	66
2 会社などにお勤めの方(給与特別徴収)	15	⑤世田谷区から転出された方について	66
◆退職された方は	16	⑥亡くなられた方の住民税について	67
3 公的年金等を受給されている方(年金特別徴収)	18	⑦令和6年度税制改正による住民税の定額減税について	67
5. 住民税の計算方法	21	⑧税金の証明書について	68
6. 所得金額	22	⑨ふるさと納税について	69
7. 所得控除	26	⑩軽自動車税(種別割)について	70
8. 税率	38	その他	72
9. 税額控除	42	◆令和6年度から適用される特別区民税・都民税の主な税法改正	72
～ふるさと納税関連情報～	44~47	◆確定申告書第二表の書き方	72
10. 住民税を計算してみましょう	49	◆世田谷区への寄附金(ふるさと納税)に関するお問い合わせ先	74
第4章 その他の区税	51	◆世田谷区への寄附(ふるさと納税)の方法	74
1. 軽自動車税(種別割)	51	◆事業主の方へeLTAX(エルタックス)を利用した電子申告等について	75
2. 軽自動車税(環境性能割)	54	◆マイナンバー制度	76
3. 特別区たばこ税	55	◆特殊詐欺などの被害に遭わないために	77
4. 入湯税	55	窓口のご案内	78
第5章 納税について	56		
1. 納税のしくみ	56		
2. 納める場所	56		
3. 便利な口座振替	57		
4. 納税相談など	58		
5. 納税が遅れたときは	59		
6. 過誤納金の還付、充当	59		

※このガイドブックに記載の事項は、税制改正等により変更となる場合があります。